

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
22	杏林大学	中国文学史Ⅱ	詹 満江 外国語学部客員教授	2	秋学期	火	15	13:00～14:30	杏林大学 井の頭キャンパス	1～2

【到達目標】

宋代から清朝末までの中国文学の概要を時系列に沿って知る。

【授業の概要】

中国の歴史は長いので、その文学史となると、膨大です。この講座では、膨大な中国文学の簡単な見取り図のような情報を提供します。基本的なことさえわかれば、あとは興味の赴くまま、広大な中国文学の山河を迷わずに逍遥できるでしょう。

【授業内容】

第1回: 導入

授業の進め方を説明するとともに、中国についての基礎知識を確認する。

第2回: 梅妻鶴子—林逋(りんぼ)

中国における職業詩人の草分け的存在だったこの詩人の生活と詩を学ぶ。

第3回: マルチの文人—欧陽修

経・史・子・集の四部分類全てに業績があった多才な詩人の生き方を学ぶ。

第4回: 司馬光と王安石

旧法党の司馬光と新法党の王安石、二人の巨人の業績を比較しつつ学ぶ。

第5回: 北宋を代表する文人—蘇軾

たびたび左遷され、しまいには海南島にまで流されても、この詩人から明るさが消えることはなかった。

第6回: 南宋の愛国詩人—陸游

我が母から、最初の妻を離縁させられるが、生涯にわたってその愛情は続いた。

第7回: 新しい儒学—朱子学

朱熹が始めた朱子学は、遠く日本の江戸時代にまで影響を及ぼした。

第8回: 『三体詩』—唐詩の選集の普及

日本にまで普及し、室町時代の和刻本が今日まで伝わっている。

第9回: 金の遺民—元好問

金王朝が元(モンゴル)に滅ぼされても、金に対する忠誠心は揺るがなかった。

第10回: 国際人—耶律楚材

契丹人でありながら、女真人の金や蒙古人の元に仕えた国際人の生涯。

第11回: 明初の詩人—高啓

自由に憧れつつも過酷な運命に翻弄された高潔な魂の軌跡を学ぶ。

第12回: 『三国志演義』

白話小説の白眉が成立する過程を学ぶ。

第13回: 『唐詩選』—古文辞派の決定版

中国で滅び、日本でベストセラーになった詩集の運命を辿る。

第14回: 明末清初の詩人—王漁洋

漢族でありながら、満州族の清王朝に仕える詩人の典故が鏤められた複雑な心境の作を読む。

第15回: 総まとめ

授業に関する意見交換、期末レポート提出。

【成績評価方法】

毎回の課題の提出(60%)と期末レポート(40%)。

【教科書】

松原 朗他著『教養のための中国古典文学史』研文出版 2009年

【参考書、教材等】

なし

※ この授業は、9/21(火)が初回です。